

IV 調査結果の詳細

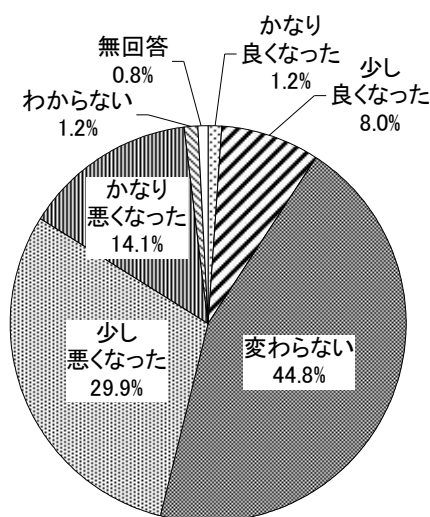
1 暮らしの変化について

(1) 暮らしの変化

問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。

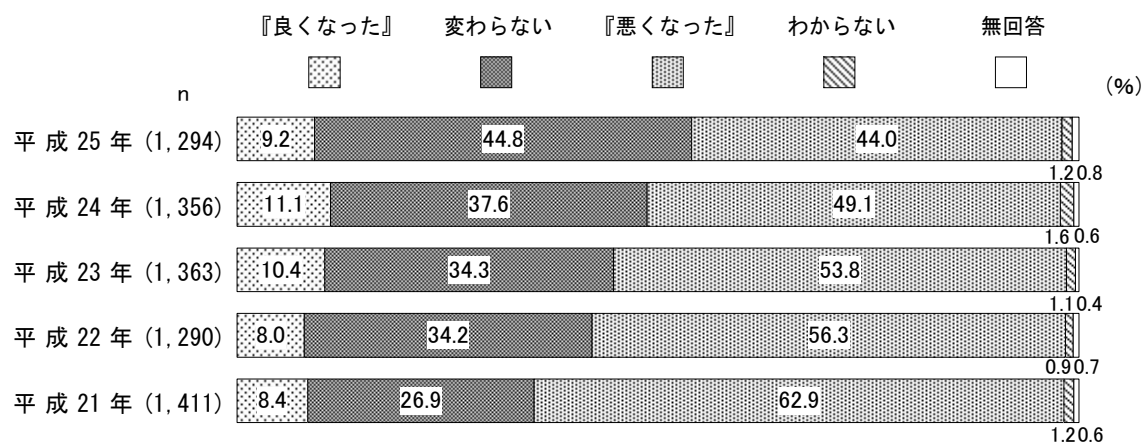
[n=1,294]

1	かなり良くなった	1.2%	4	少し悪くなった	29.9%
2	少し良くなった	8.0%	5	かなり悪くなった	14.1%
3	変わらない	44.8%	6	わからない	1.2%
				(無回答)	0.8%



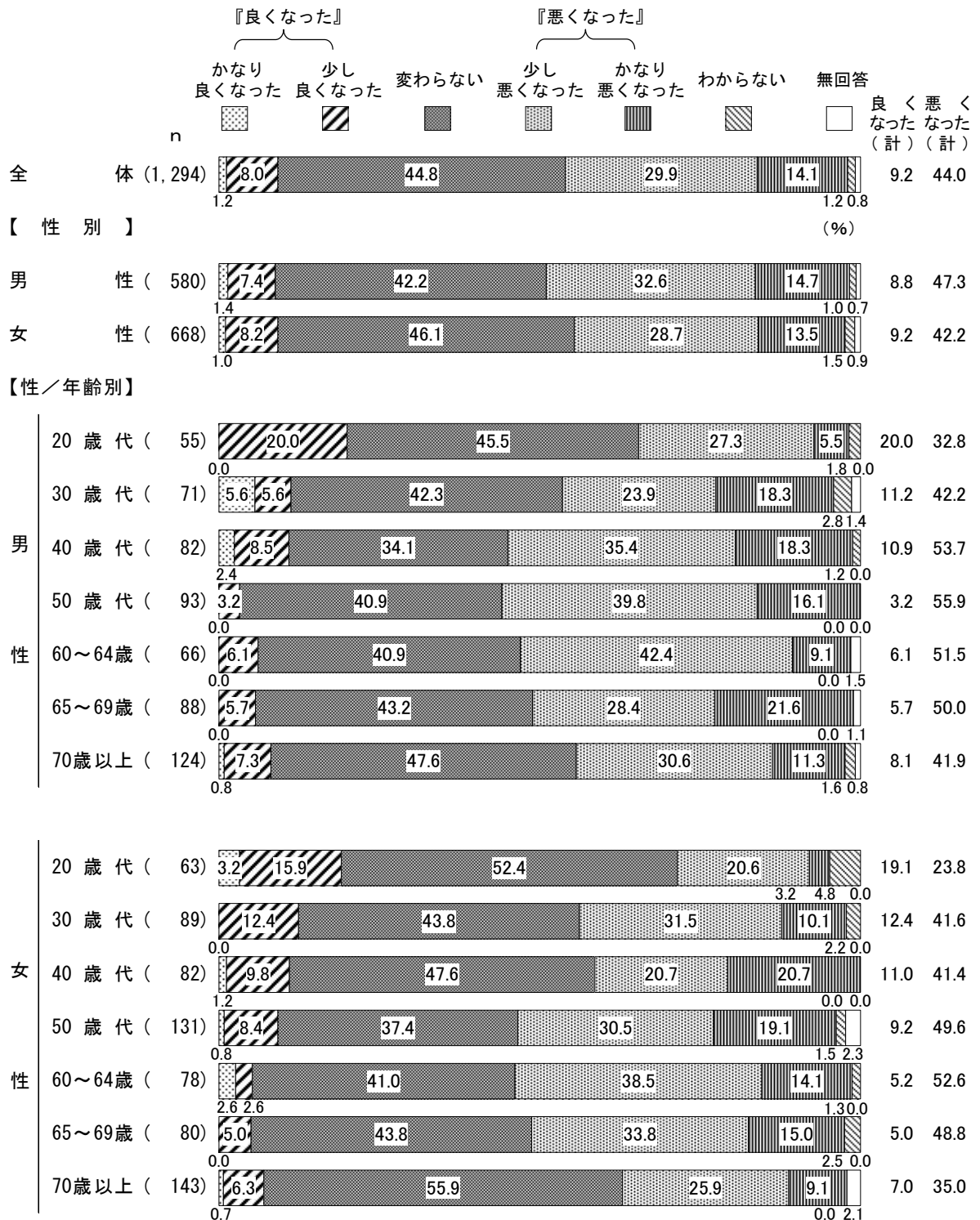
(n=1,294)

全体で見ると、「かなり良くなった」(1.2%)と「少し良くなった」(8.0%)の2つを合わせた『良くなった』(9.2%)はほぼ1割となっている。一方、「少し悪くなった」(29.9%)と「かなり悪くなった」(14.1%)の2つを合わせた『悪くなった』(44.0%)は4割半ばとなっている。



過去の調査結果と比較すると、『悪くなった』は減少傾向となっている。一方、『良くなった』は1割前後で推移している。

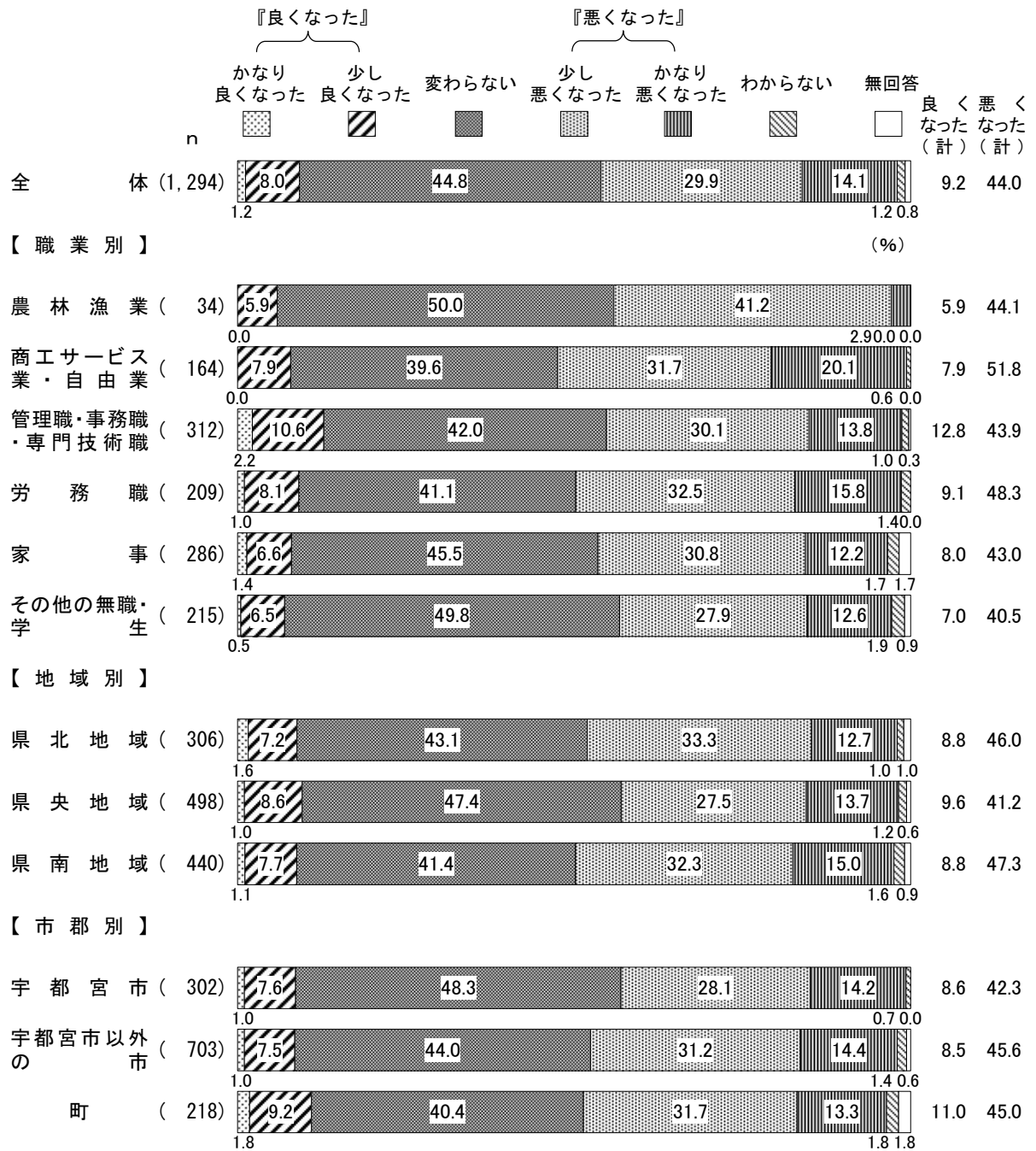
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、『悪くなった』では〈男性〉(47.3%)が〈女性〉(42.2%)より5.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『良くなった』では〈男性20歳代〉が20.0%、〈女性20歳代〉が19.1%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈男性50歳代〉が55.9%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、『良くなった』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が12.8%と高く、『悪くなった』では〈商工サービス業・自由業〉が51.8%と高くなっている。

地域別でみると、『悪くなった』では〈県央地域〉が41.2%と他の地域に比べて低くなっている。

市郡別でみると、『良くなった』では〈町〉が11.0%と、〈宇都宮市〉や〈宇都宮市以外の市〉に比べて高くなっている。

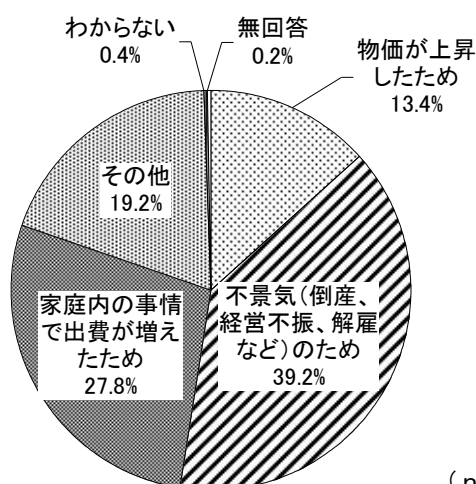
(1-1) 暮らしが悪くなった理由

(問1で「少し悪くなった」、「かなり悪くなった」を選んだ方のみお答えください)

問1-1 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな原因を1つ選んでください。

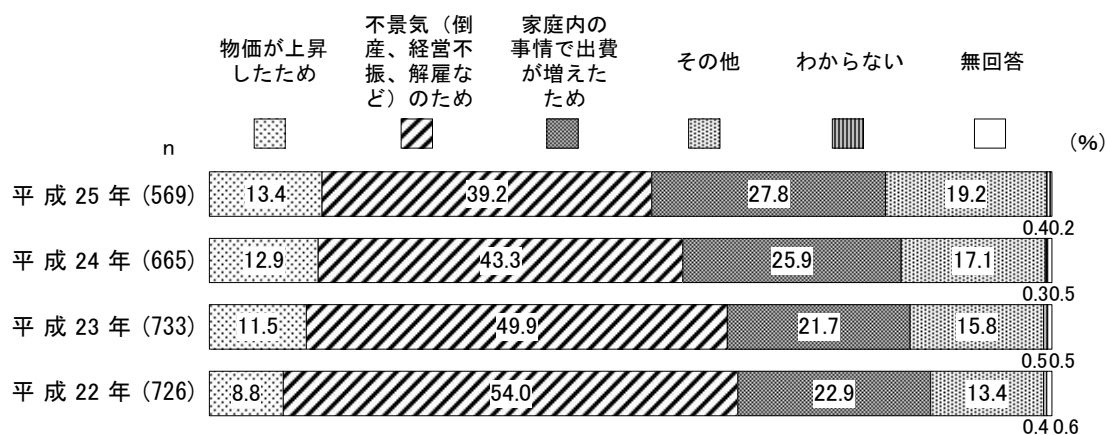
[n=569]

1 物価が上昇したため	13.4%
2 不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため	39.2%
3 家庭内の事情で出費が増えたため	27.8%
4 その他	19.2%
5 わからない	0.4%
(無回答)	0.2%



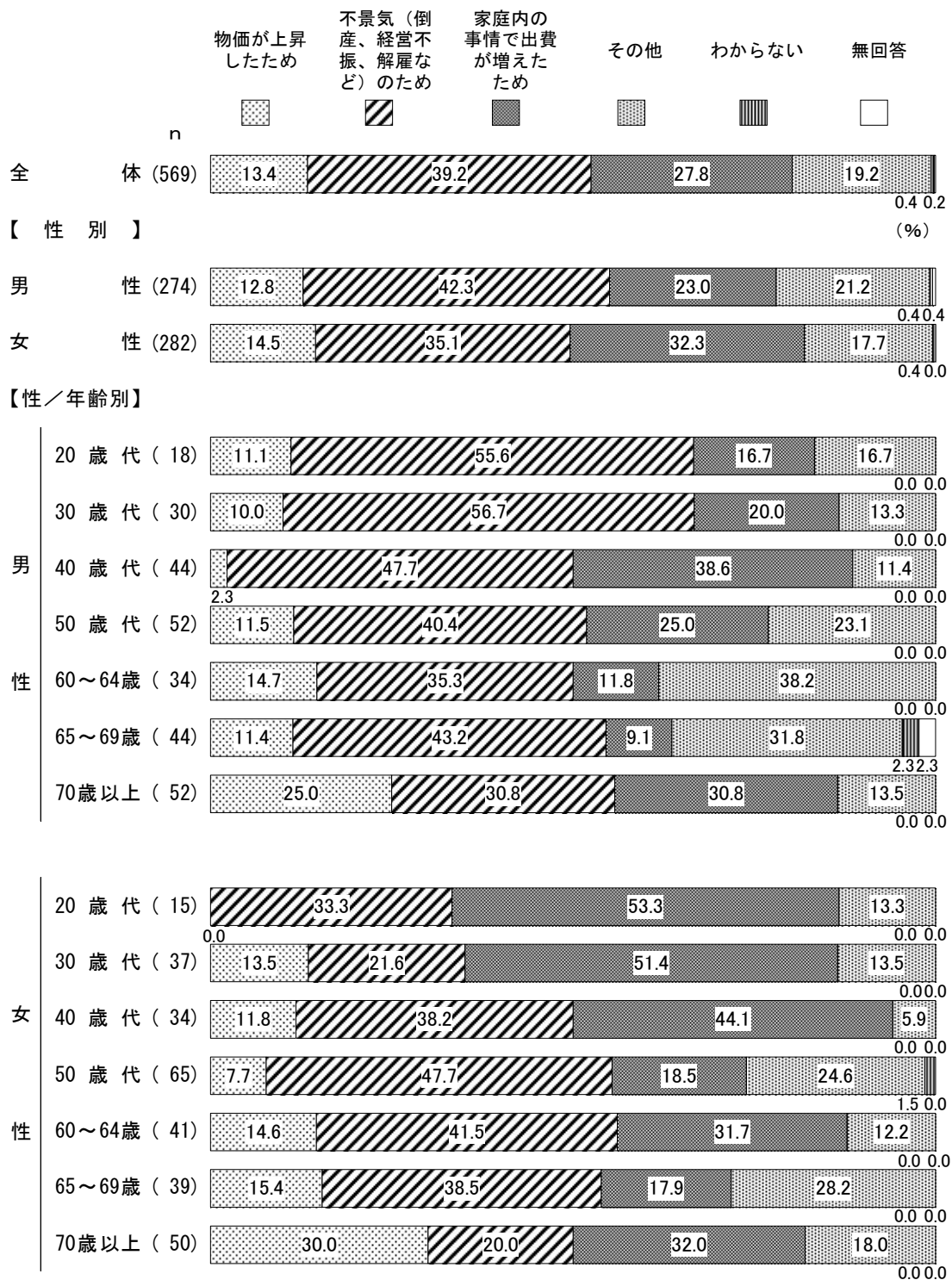
(n=569)

全体で見ると、「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」(39.2%)がほぼ4割で最も高く、次いで「家庭内の事情で出費が増えたため」(27.8%)、「物価が上昇したため」(13.4%)の順となっている。



過去の調査結果と比較すると、「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」は減少傾向となっており、「家庭内の事情で出費が増えたため」は平成23年以降増加傾向にある。

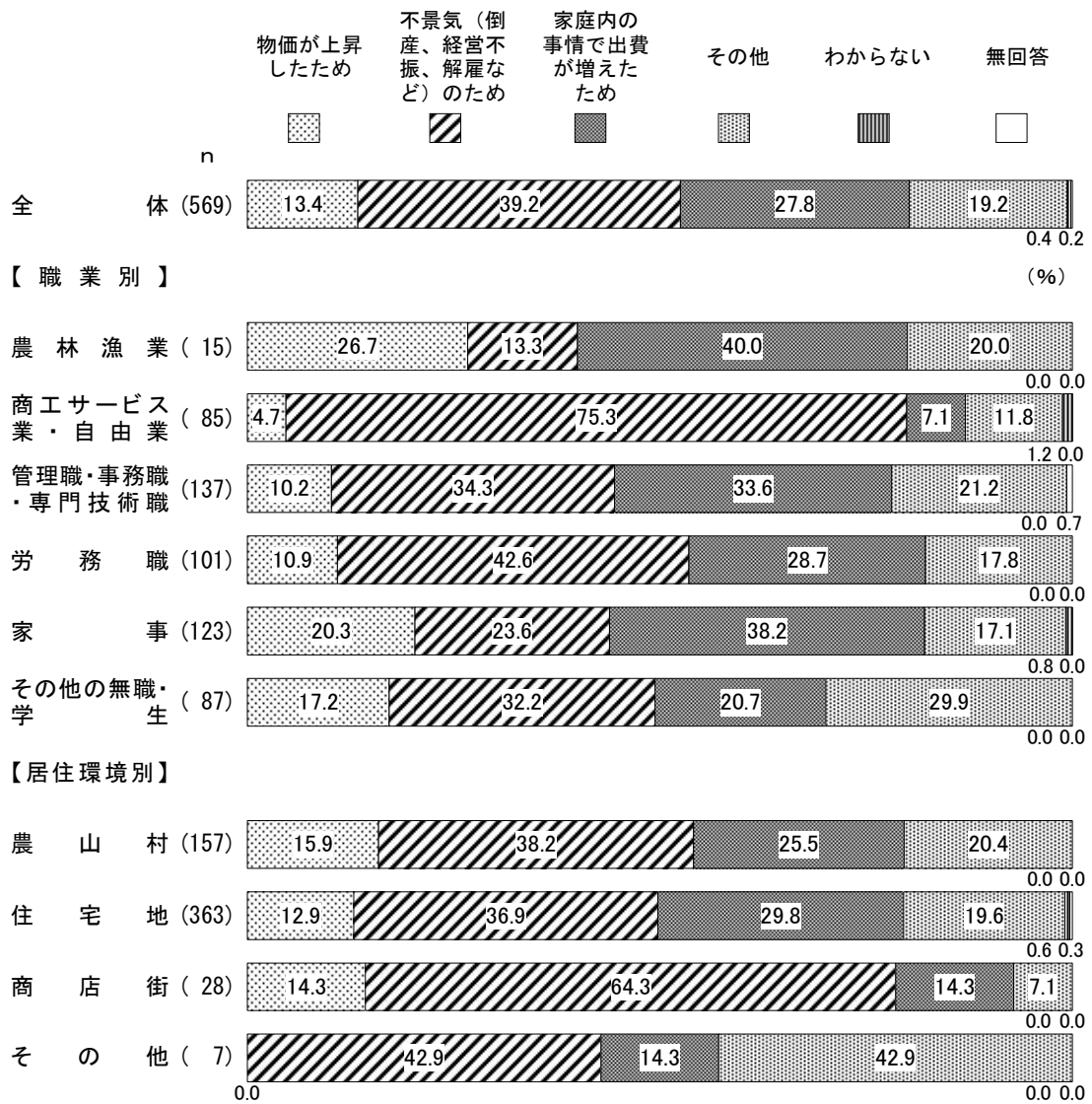
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈男性〉（42.3%）が〈女性〉（35.1%）より7.2ポイント高く、「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈女性〉（32.3%）が〈男性〉（23.0%）より9.3ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈男性30歳代〉が56.7%、〈男性20歳代〉が55.6%と高くなっている。「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈女性20歳代〉が53.3%、〈女性30歳代〉が51.4%と高くなっている。

[職業別・居住環境別]



職業別でみると、「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈商工サービス業・自由業〉が75.3%と高くなっている。「物価が上昇したため」では〈農林漁業〉が26.7%と他の職業に比べて高くなっている。

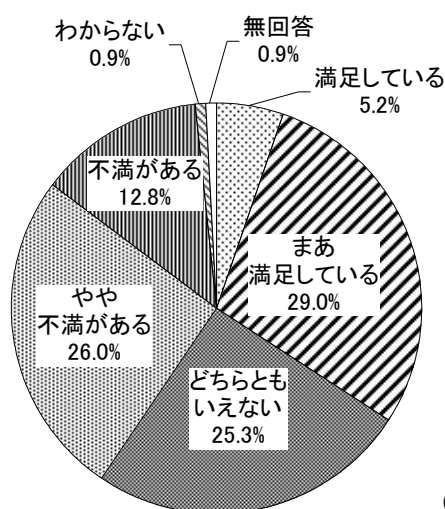
居住環境別でみると、「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈商店街〉が64.3%と高くなっている。

(2) 暮らしの満足度

問2 あなたは、今の暮らしについてのどの程度満足していますか。次の中から1つ選んでください。

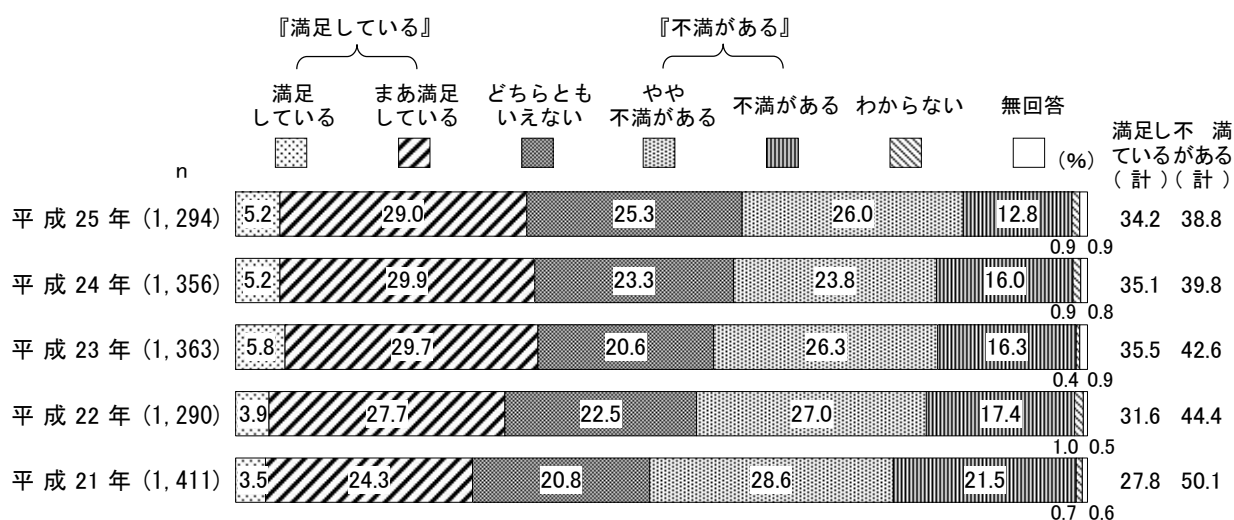
[n=1,294]

1	満足している	5.2%	4	やや不満がある	26.0%
2	まあ満足している	29.0	5	不満がある	12.8
3	どちらともいえない	25.3	6	わからない	0.9
				(無回答)	0.9



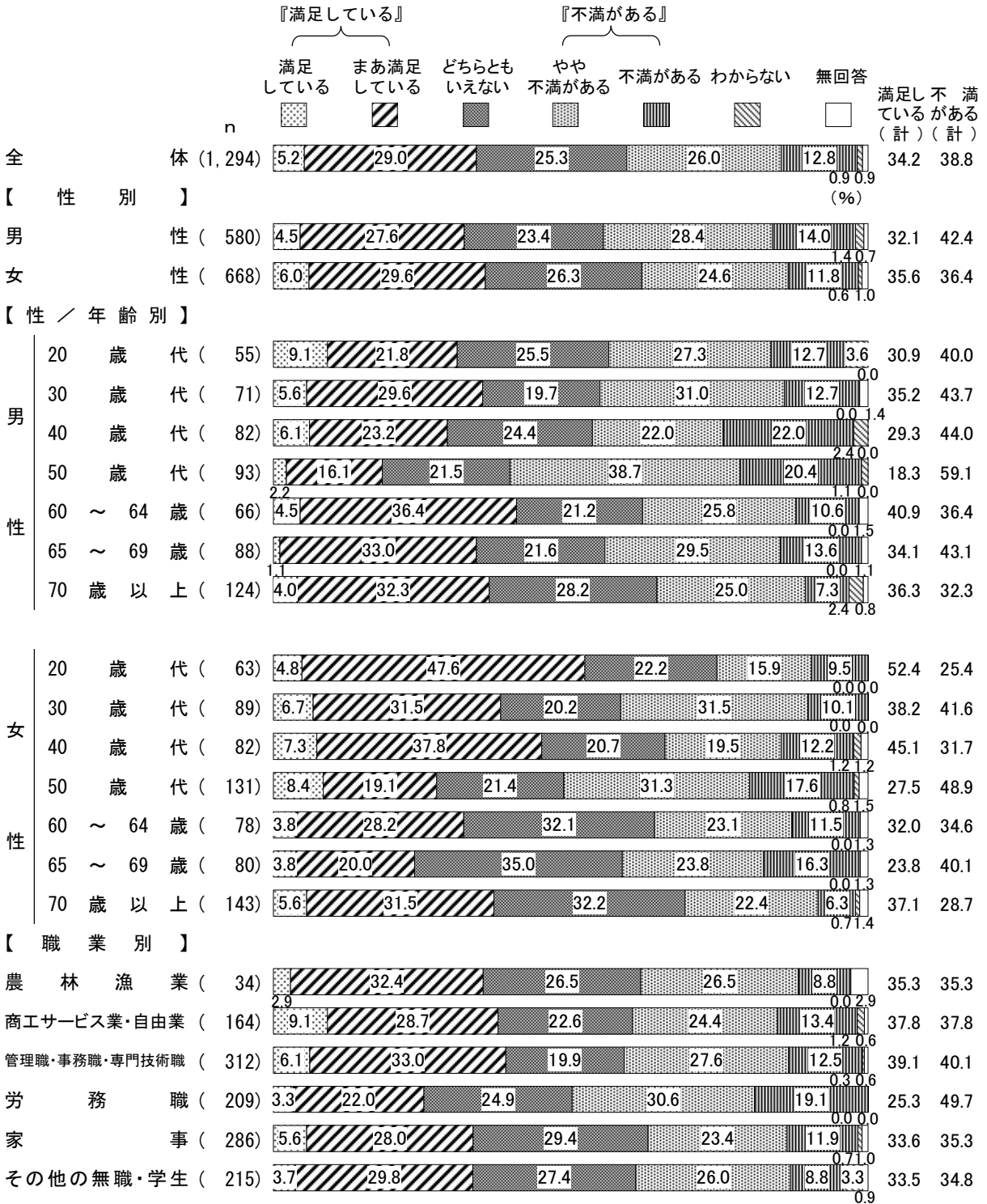
(n=1,294)

全体で見ると、「満足している」(5.2%)と「まあ満足している」(29.0%)の2つを合わせた『満足している』(34.2%)は3割半ばとなっている。一方、「やや不満がある」(26.0%)と「不満がある」(12.8%)の2つを合わせた『不満がある』(38.8%)は4割近くとなっている。



過去の調査結果と比較すると、『不満がある』は減少傾向となっている。『満足している』は平成23年以降3割半ばで推移しており、平成22年以前と比べて高くなっている。

【性別・性／年齢別・職業別】

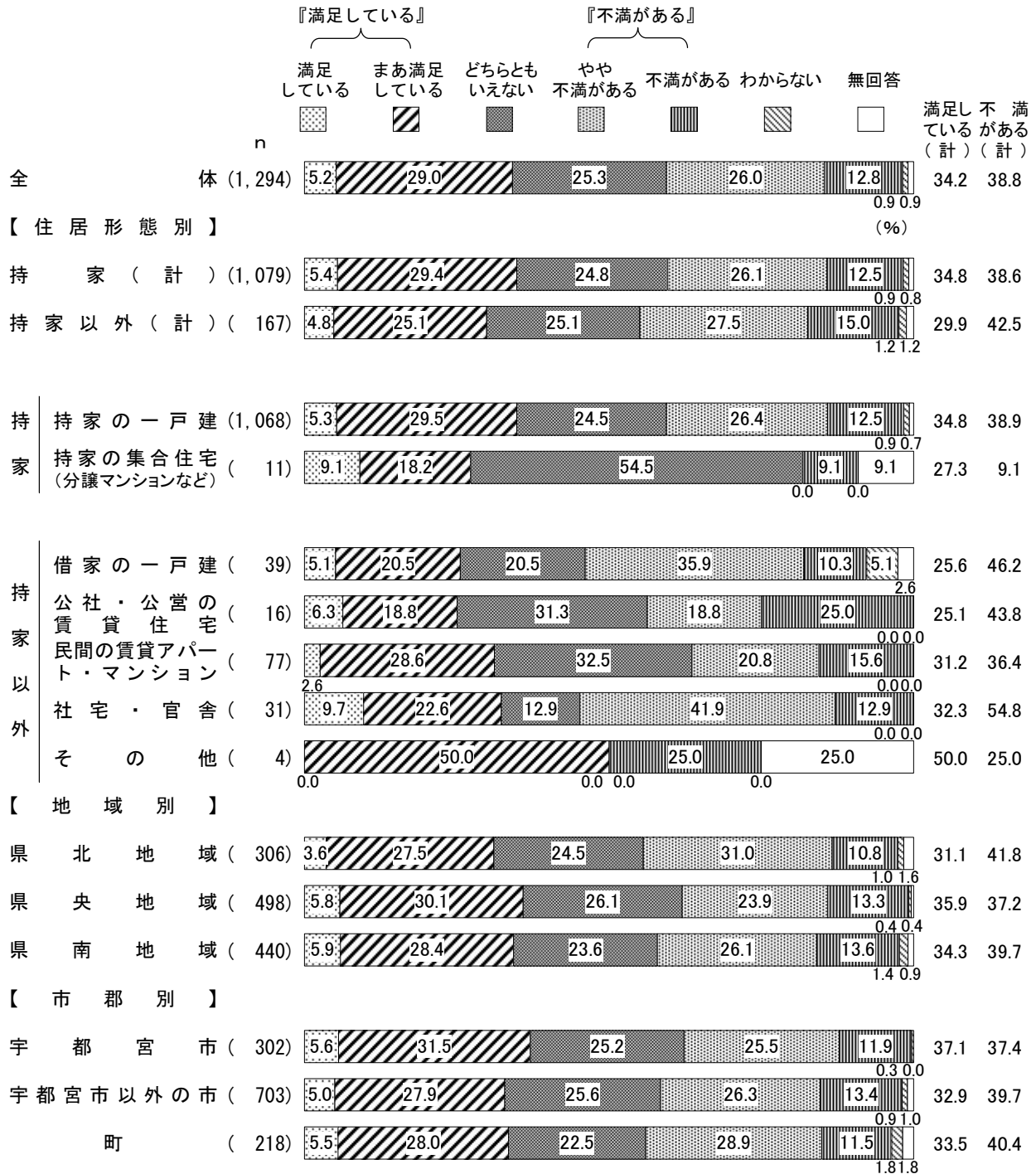


性別で見ると、『満足している』では〈女性〉(35.6%)が〈男性〉(32.1%)より3.5ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『満足している』では〈女性20歳代〉が52.4%と高くなっている。『不満がある』では〈男性50歳代〉が59.1%と高くなっている。

職業別で見ると、『満足している』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が39.1%と他の職業に比べて高くなっている。『不満がある』では〈労務職〉が49.7%と高くなっている。

【住居形態別・地域別・市郡別】



住居形態別でみると、『満足している』では〈持家（計）〉（34.8%）が〈持家以外（計）〉（29.9%）より4.9ポイント高くなっている。

地域別でみると、『満足している』では〈県央地域〉が35.9%と他の地域に比べて高くなっている。

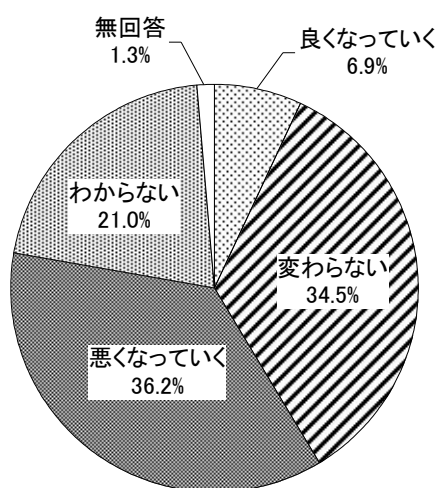
市郡別でみると、『満足している』では〈宇都宮市〉が37.1%と、〈宇都宮市以外の市〉や〈町〉より高くなっている。

(3) 今後の暮らしの状況

問3 あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。次の中から1つ選んでください。

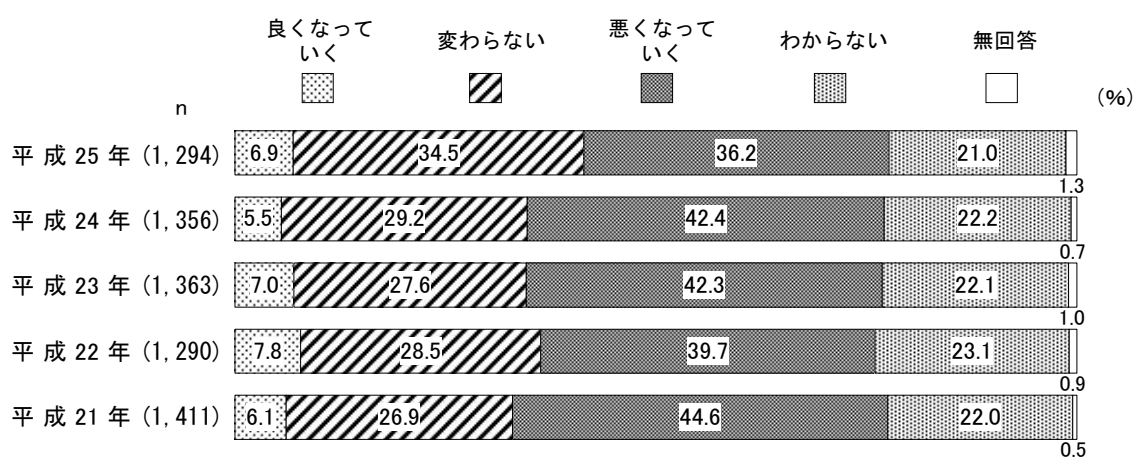
[n=1,294]

1	良くなっていく	6.9%	3	悪くなっていく	36.2%
2	変わらない	34.5%	4	わからない	21.0%
				(無回答)	1.3%



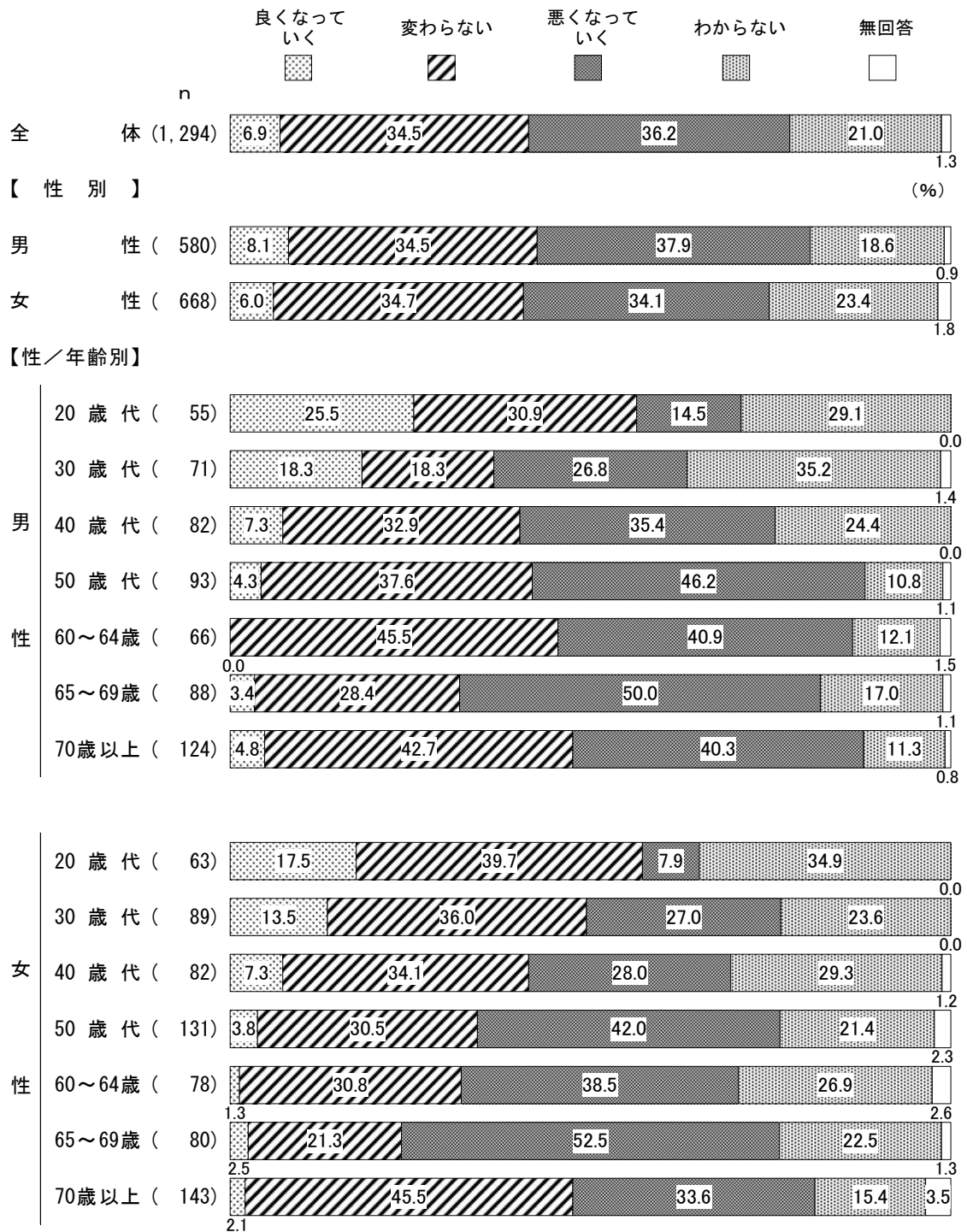
(n=1,294)

全体で見ると、「良くなっていく」(6.9%)は1割に満たない。「変わらない」(34.5%)と「悪くなっていく」(36.2%)はともに3割半ばである。



過去の調査結果と比較すると、「変わらない」は前回(平成24年)より増加しており、「悪くなっていく」は前回(平成24年)より減少している。

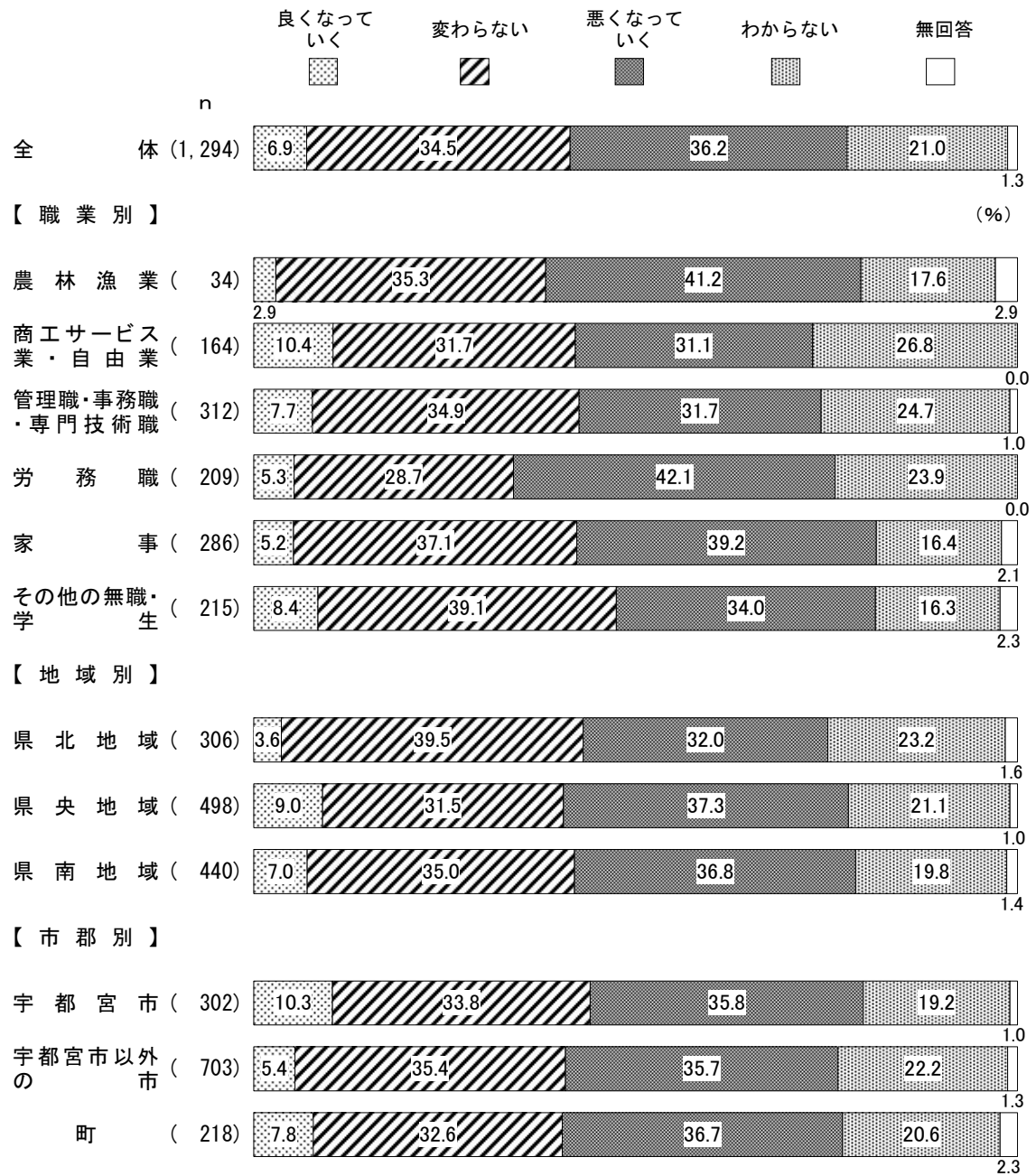
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「悪くなっていく」では〈男性〉(37.9%)が〈女性〉(34.1%)より3.8ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「良くなっていく」では〈男性20歳代〉が25.5%、〈女性20歳代〉が17.5%と高くなっている。「悪くなっていく」では〈女性65~69歳〉が52.5%、〈男性65~69歳〉が50.0%と高くなっている。

[職業別・地域別・市郡別]



職業別でみると、「良くなっていく」では〈商工サービス業・自由業〉が10.4%と他の職業に比べて高くなっている。「悪くなっていく」では〈労務職〉が42.1%、〈農林漁業〉が41.2%と他の職業に比べて高くなっている。

地域別でみると、「悪くなっていく」では〈県北地域〉が32.0%と他の地域に比べて低くなっている。

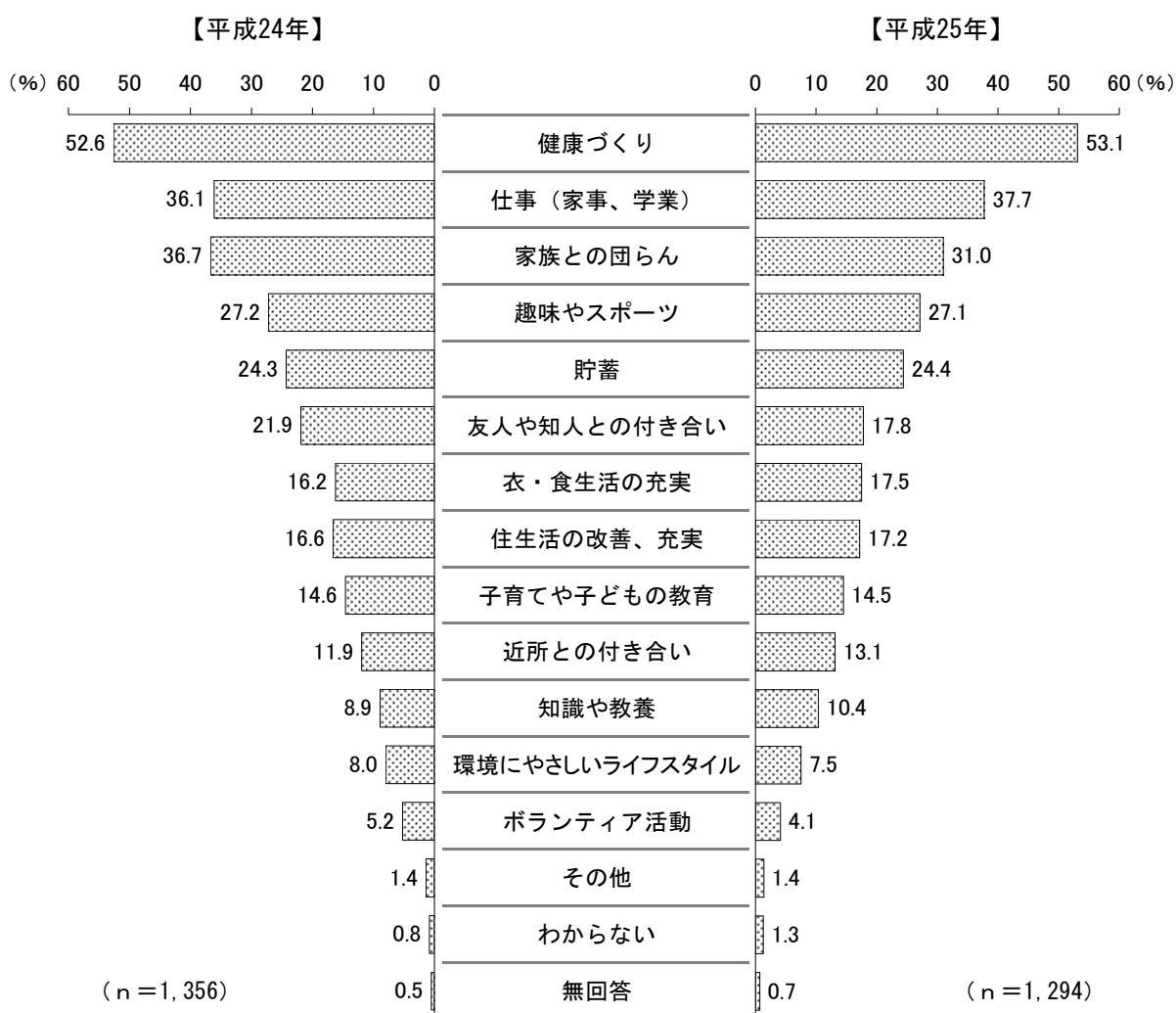
市郡別でみると、「良くなっていく」では宇都宮市が10.3%と高くなっている。

(4) 今後の暮らしで力を入れる点

問4 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。
次の中から3つまで選んでください。

[n=1,294]

1	仕事（家事、学業）	37.7%	9	家族との団らん	31.0%
2	知識や教養	10.4	10	近所との付き合い	13.1
3	貯蓄	24.4	11	友人や知人との付き合い	17.8
4	趣味やスポーツ	27.1	12	子育てや子どもの教育	14.5
5	ボランティア活動	4.1	13	健康づくり	53.1
6	衣・食生活の充実	17.5	14	その他	1.4
7	住生活の改善、充実	17.2	15	わからない	1.3
8	環境にやさしいライフスタイル	7.5		（無回答）	0.7

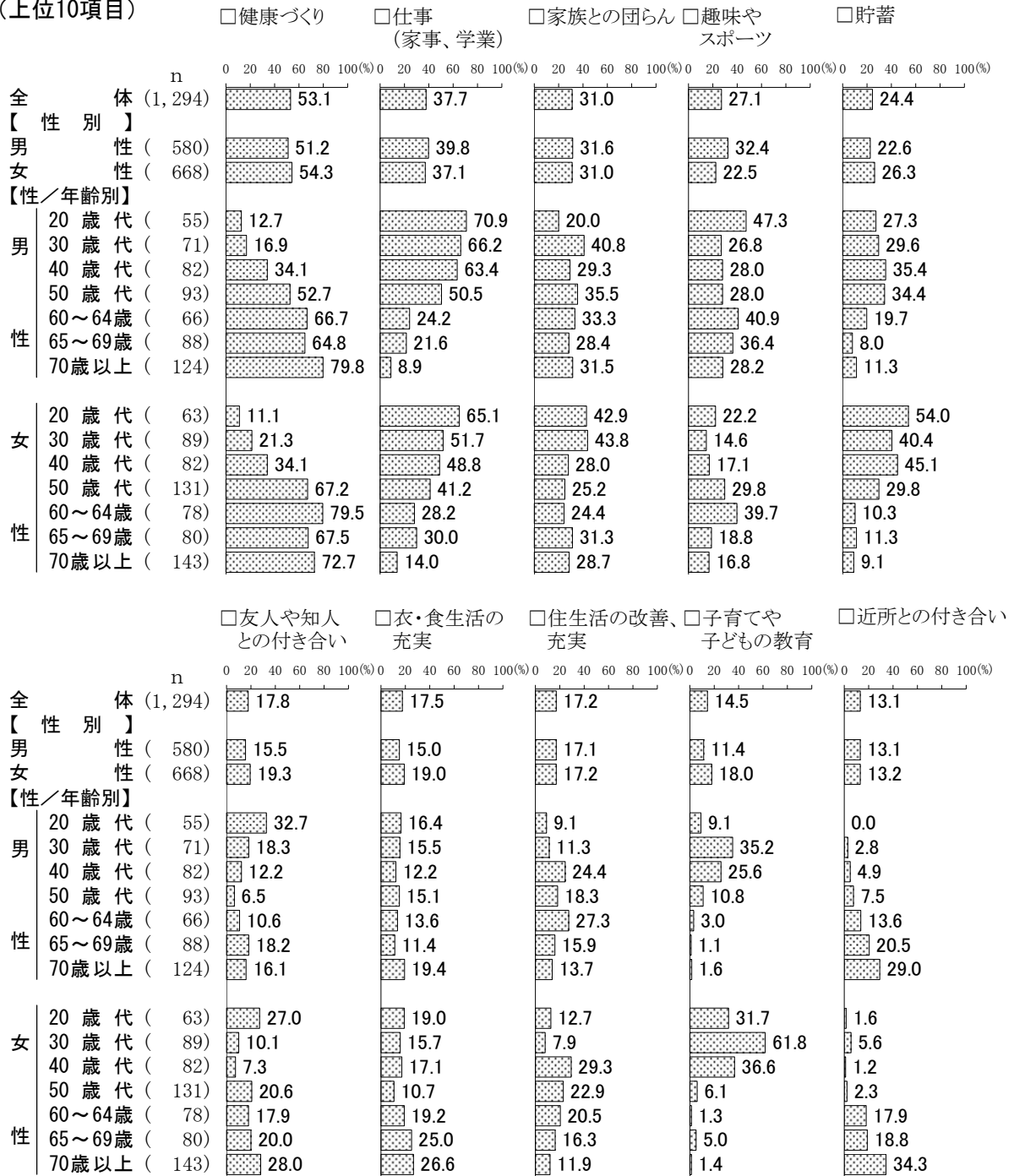


全体でみると、「健康づくり」(53.1%)が5割を超えて最も高く、次いで「仕事(家事、学業)」(37.7%)、「家族との団らん」(31.0%)、「趣味やスポーツ」(27.1%)、「貯蓄」(24.4%)の順となっている。

前回(平成24年)の調査結果と比較すると、「家族との団らん」が5.7ポイント減少している。

[性別・性／年齢別]

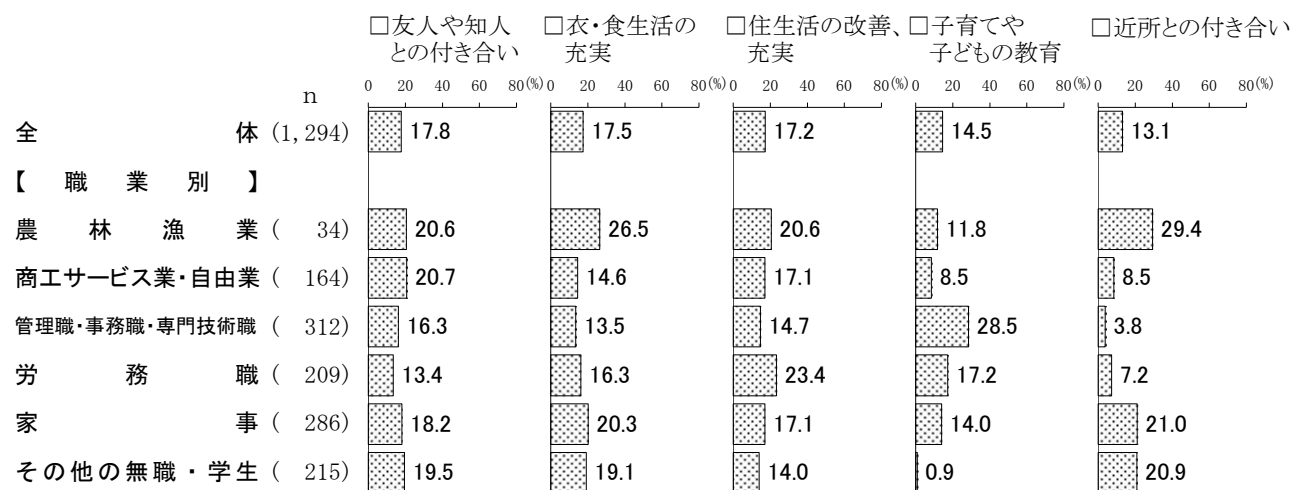
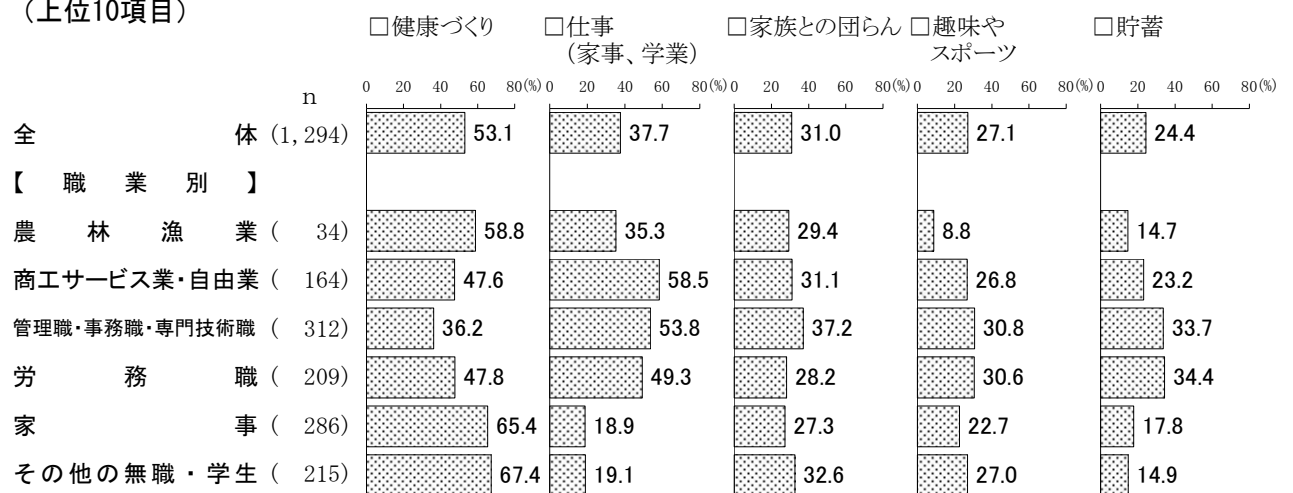
(上位10項目)



性別で見ると、「趣味やスポーツ」では〈男性〉(32.4%)が〈女性〉(22.5%)より9.9ポイント高くなっている。「子育てや子どもの教育」では〈女性〉(18.0%)が〈男性〉(11.4%)より6.6ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「健康づくり」では〈男性の60~64歳以上の各年代〉と〈女性の50歳代以上の各年代〉が6割以上と高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈男性の20歳代から40歳代の各年代〉と〈女性20歳代〉が6割以上と高くなっている。「貯蓄」では〈女性の20歳代から40歳代の各年代〉が4割以上と高くなっている。「子育てや子どもの教育」では〈女性30歳代〉で61.8%と高くなっている。「近所との付き合い」では〈女性70歳以上〉が34.3%と高くなっている。

[職業別]
(上位10項目)



職業別でみると、「健康づくり」では〈その他の無職・学生〉が67.4%、〈家事〉が65.4%と高くなっている。「仕事（家事、学業）」では〈商工サービス業・自由業〉が58.5%と高くなっている。「貯蓄」では〈労務職〉が34.4%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が33.7%と高くなっている。「子育てや子どもの教育」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が28.5%と高くなっている。